

表 7-小 E.FORUM スタンダード (第 1 次案) : 小学校体育 (北原琢也編集)

小学校体育, 中学校・高等学校保健体育 (方法論に関する包括的な「本質的な問い」) :
 どうすれば, 自主的・継続的に心身の発達と健康の保持増進を図ることができるのか。

領域		体づくり運動	器械運動系・陸上運動系・水泳系・表現運動系	
範疇の本質的な問い		・どうすれば, 楽しく身体の発達を促すことができるのか。	・どうすれば, 楽しく運動・スポーツをすることができるのか。	
小学校 第 1・2 学年	本質的な問い	(体ほぐし運動) ・どうすれば, 体を動かすことを楽しむことができるか。	「表現リズム遊び」(表現遊び) ・どうすれば, 表現遊びを楽しむことができるのか。	「走・跳の運動あそび」(走の運動遊び) [リレーあそび] ・どのようなことを心がければ, リレー遊びを楽しむことができるのか。 (森脇逸朗先生)
	継続的理解	・体を動かすと気持ちがいよいに気づき, 心の状態を軽やかにし, 仲間と仲良く協力し合うとよい。	・身近な動物や乗り物などのいろいろな題材の様子をとらえて, そのものになりきり, 身体全体を使って表現踊りをするとよい。	・走る距離を決め, 歩いたり, 走ったりしながら, 相手に手のひらを向けてタッチリレーをしたり, バトンを渡したり, 受けたりするゲームをするとよい。
	課題例	〔課題例 1〕・学習してきた(体ほぐし)運動の中で, 体も心も一番気持ちのよかった運動を見つけ発表しましょう。	〔課題例 2〕 [私は〇〇です!] ・身近な生き物の様子や特徴をとらえて, 「〇〇が, △△しているところ」のように, 全身を使って表現した踊りをしましょう。	〔課題例 3〕・4人グループで, 20m 歩くタッチリレーを競いましょう。ただし, 4 番目の人が 20m ライン越えてはダメです。必ずタッチすることが条件です。
小学校 第 3・4 学年	本質的な問い	(多様な動きをつくる運動) ・体の基本的な動きとは何か。また, どうすれば, 身に付けることができるのか。	「浮く・泳ぐ運動」(泳ぐ運動) ・どうすれば, クロールができるようになるのか。	「器械運動」 [マット運動] ・どうすれば, 技ができるようになるのか。また, どのようなことに気を付ければ, より上手くなるのか。 (森脇逸朗先生)
	継続的理解	・体のバランスや移動, 用具の操作, 力試しの動きの運動を行い, それらを組み合わせた動きができるとよい。また, 友だちのよい動きを見つけて, 自分の運動に取り入れたりして運動するとよい。	・補助具を使って, ももの付け根からのバタ足の練習, 手を左右交互に前に出し, 水をかくストロークの練習, 水中で息を吐き, 顔を上げたときに一気に息を吸うことを連続した練習をするとよい。	・自分の力に合った基本的な前転や壁倒立が常時できるように繰り返し練習するとよい。気を付けることは, 技に関連したやさしい運動遊びを取り入れ, やさしい場・条件下で段階的に取り組むとよい。
	課題例	〔課題例 4〕・自分(たち)が学習したそれぞれの運動の中で, 体を動かす楽しさや心地よさを味わった運動を 2 つ以上組み合わせた運動を見つけて発表しましょう。	〔課題例 5〕・学習したクロールの練習から, 自分の力に合った練習方法を見付け, その練習効果を発表しましょう。	〔課題例 6〕・自分の力に合ったマット運動の基本的な技を身に付けるために, どのようなことに気を付け, 練習をしたかを発表しましょう。 (森脇逸朗先生)
小学校 第 5・6 学年	本質的な問い	(体力を高める運動) ・どうすれば, 体力を高めることができるのか。	「陸上運動」(ハードル走) ・どうすれば, スピードを落とさないで走りきることができるのか。 (森脇逸朗先生)	「表現運動」(表現) ・どうすれば, うまく踊りで表現できるのか。
	継続的理解	・体の柔らかさ, 巧みな動きを高めるための運動, 力強い動き, 動きを持続する能力を高める運動をするとよい。	・第 1 ハードルを決めた足で踏み切って走り越え, ハードル上では上体を前傾姿勢に保ち, インターバルは 3~5 歩の自分に合ったリズムで走るとよい。(3 歩のリズム例: ターン, タ, タン, タン, ターン)	・自分たちで決めた題材から, 表したい感じやイメージを強調し, 「はじめ・なか・おわり」を付けた, 一つのまとまりの動きにして表現するとよい。
	課題例	〔課題例 7〕・自分(たち)が学習した運動の中で, 自分(たち)の体力にあった運動を見付け, そのねらいや運動の仕方を発表しましょう。	〔課題例 8〕・50m ハードル走をします。目標はスピードを落とさないように走ることです。自分の課題と, その練習方法を発表しましょう。 (森脇逸朗先生)	〔課題例 9〕・グループで多種多様な題材から一つ選び, 一つのまとまりのある動きを, 踊りとして発表しましょう。

1 京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM 『「スタンダード作り」基礎資料集』(以下、『基礎資料集』と示す) 2010 年 3 月, 183 頁, (森脇逸朗先生が作成された「パフォーマンス課題」を「本質的な問い」に使用し, 北原が修正)。
 2 『基礎資料集』183 頁, (森脇逸朗先生が作成された「パフォーマンス課題」を「本質的な問い」に使用し, 北原が修正案を提供)。
 3 『基礎資料集』183 頁, (森脇逸朗先生が作成された「パフォーマンス課題」を「本質的な問い」に使用し, 北原が修正案を提供)。

領域		器械運動系・水泳系・ボール運動系・表現運動系		保 健
範疇の本質的な問い		・どうすれば、楽しく運動・スポーツをすることができるのか。		・どうすれば、心身の健康を図ることができるのか。
小学校 第1・2 学年	本質的な問い	「器械・器具を使つての運動遊び」(鉄棒) ・どうすれば、鉄棒を楽しむことができるのか。	「ゲーム」(ボール蹴りゲーム) ・どうすれば、ボール蹴りゲーム遊びを楽しむことができるのか。	
	永続的理解	・鉄棒を使って跳び上がりや跳び下りなどの遊びをしたり、ぶら下がりや回転などをして遊ぶとよい。また、マット運動、跳び箱運動の関連性に着目するとよい。	・ボール蹴りゲームを楽しく行うための簡単なボール操作や動きを身に付け、攻め方を決め、簡単なゲームのルールなどを話し合い、工夫したりするとよい。	
	課題例	〔課題例10〕・鉄棒を使った運動遊びには、どのようなものがあるかを発表しましょう。また、友だちの動きの中でよい動きを見つけたら、それも発表しましょう。	〔課題例11〕・今までの学習を活かして、3人対3人のサッカーゲームをしましょう。ルールやマナーなどは、話し合つて自分たちで決め、楽しめるために工夫しましょう。	
小学校 第3・4 学年	本質的な問い	「表現運動」(リズムダンス)・どうすれば、表したい感じを表現した踊りができるのか。	「ゲーム」(ネット型ゲーム)・どうすれば、プレイボールがうまくなるのか。	・どうすれば、健康な生活を送ることができるか。(3年)
	永続的理解	・自分の関心ある空想した世界から、その主な特徴や感じをとらえて、一つの流れの動きで即興的に表現したり、表したい感じを中心に「はじめ・おわり」を付けた動きにして表現するとよい。	・ボールの方向に身体を向け、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に身体を移動し、様々な高さのボールを片手または両手ではじいたり、打ち付けたりして相手コートに正確に返球するとよい。	・以上の要因が関わっていることを理解し、その知識を活用し実践するとよい。 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養、睡眠の調和のとれた生活を続け、体の清潔を保つこと。 周囲の環境として、明るさの調節、換気などの生活環境を整えること。(3年)
	課題例	〔課題例12〕・「空想の世界」から題材を考え、その題材の特徴・感じをとらえた、「はじめ・おわり」を付けた一つの流れのある動きを発表しましょう。	〔課題例13〕・プレイボールの練習ゲームをしましょう。あなた方の目標は、ボールをつないだりする動きを意識して、長くラリーを続けることです。	〔課題例14〕・あなたは1年生に、自分の「健康な生活の送り方」を発表することになりました。話のポイントは、「健康の大切さ」「毎日の生活」「健康によい生活のしかた」などです。(3年)
小学校 第5・6 学年	本質的な問い	「水泳」(平泳ぎ) ・どうすれば、続けて長く泳ぐことができるのか。	「ボール運動」(ベースボール型)・どうすれば作戦が機能するのか。	・どうすれば、心の健康を保つことができるのか。(5年)
	永続的理解	・両手は前方に伸ばし、円を描くように左右に開き水をかき、足は親指を外側に開き、足の裏全体で水を押しだし、キック後は伸びの姿勢を保ち、これらの動きに合わせて呼吸した連続した練習をするとよい。	・チームの一人ひとりの持ち味を活かすため、よいところを仲間で話し合い、チーム全体の特徴に適した、攻め方や守り方を考え、作戦を組み立てるとよい。	・人間の心は様々な生活経験を通して、年齢とともに発達することや、心と体は互に影響し合うことを理解するとよい。 不安や悩みがあるときは、大人や友だちに相談したり、仲間と遊んだり、運動をするなどいろいろな方法があるなどの知識を活用し行動するとよい。(5年)
	課題例	〔課題例15〕・平泳ぎで、続けて長く泳ぐための自分の課題を見付け、その課題を解決するための練習方法を考え、その計画や仕方考えた泳ぎを発表しましょう。	〔課題例16〕・簡易化されたソフトボールの作戦を立て、ゲームをしましょう。 作戦の要素は、以下の2点です。 ①チームワーク ②攻撃と守備体系	〔課題例17〕・あなたは保健新聞で、「心の健康」について記事を書くことになりました。記事の内容は、以下の2点です。 ①心と体は相互に影響していることは、体育で学習している「体ほぐしの運動」と関係付けること。 ②不安や悩みには、いろいろな対処の方法があること。(5年)